



少年男子・栃木県チームの小林竜也選手がスパイク



# バレーボール

会期 令和4年10月7日～10日

会場 宇都宮市清原体育館  
宇都宮市体育館

バレーボールは、10月7日から10日まで県内4会場で開催されました。宇都宮市清原体育館と宇都宮市体育館では少年男女が熱戦を繰り広げ、栃木県チームは男女とも惜しくも初戦で敗れました。少年男子は決勝で熊本県が愛知県を3-2で振り切り初優勝。少年女子決勝は宮城県が岡山県を3-1で下して12年ぶり5度目の優勝を飾りました。

競技結果(6人制バレーボール+ビーチバレーボール 男女総合成績)

1位	岡山県	2位	宮城県
3位	東京都	22位	栃木県



宇都宮市清原体育館



宇都宮市体育館



少年女子・栃木県の石塚愛理選手がサーブを放つ



少年女子・栃木県 齋藤咲桜選手がスパイクを放つ



少年女子・栃木県 菊地さくら選手がレシーブ



少年男子・栃木県 中野佑月選手がスパイクを狙う



少年男子・栃木県 岩岡日向我選手がトスを上げる



得点に喜び少年女子の栃木県チーム



得点に盛り上がる少年男子の栃木県チーム



少年男子優勝の熊本県にミヤリーぬいぐるみを贈呈



優勝が決まった瞬間喜びを爆発させた少年女子の宮城県



他県の選手と競技補助員



少年女子優勝の宮城県。応援団と記念撮影



優勝が決まり喜びを爆発させた沖縄県チーム



# 軟式野球

会期 令和4年10月7日～10日

会場 宇都宮清原球場  
栃木県総合運動公園硬式野球場ほか

軟式野球は10月7日から10日まで県内6会場で開催されました。宇都宮市では宇都宮清原球場と栃木県総合運動公園硬式野球場で熱戦が繰り広げられ、決勝は沖縄県と福岡県が激突し、沖縄県が延長十回に2-1でサヨナラ勝ち。7イニングで行われた3・4位決定戦は三重県が奈良県に2-1と競り勝ちました。栃木県チームは益子町で行われた1回戦で富山県に0-2で敗れました。

### 競技結果（男女総合成績）

1位	沖縄県	2位	福岡県
3位	三重県	9位	栃木県



開始式であいさつする佐藤栄一市長



宇都宮清原球場



栃木県チーム伊藤篤主将がバッテリーを励ます（1回戦 栃木-富山戦・益子町）



栃木県総合運動公園硬式野球場での始球式



準優勝の表彰を受ける福岡県チーム



優勝を飾り表彰を受ける沖縄県チーム



3位の表彰を受ける三重県チーム



スライディングで激しく上がる水しぶき（1回戦 北海道-石川戦）



クロスプレー（3位決定戦 三重-奈良戦）



ベース上でガッツポーズ（1回戦 青森-茨城戦）



栃木県チーム先発の新藤将照投手が7回無失点の力投（1回戦 栃木-富山戦・益子町）



成年男子 先鋒・山本達也選手(右)が優勢勝ちを収める(準決勝 茨城戦)



# 柔道

会期 令和4年10月8日~10日

会場 ユウケイ武道館(栃木県総合運動公園武道館)

柔道は、10月8日から10日までユウケイ武道館(栃木県総合運動公園武道館)で開催されました。栃木県チームは成年男子が準々決勝で東京都、準決勝で茨城県を破って決勝に進出し、決勝も宮崎県に1-1で内容勝ちして初優勝を飾りました。女子と少年男子はそれぞれ1回戦を突破したものの、2回戦で敗退となり、惜しくも入賞を逃しました。

### 競技結果(男女総合成績)

1位	東京都	2位	埼玉県
3位	滋賀県	5位	栃木県



ユウケイ武道館



胴上げで喜び成年男子の栃木県チーム



成年男子副将・熊代佑輔選手が横四方固めを決める(準決勝 茨城戦)



成年男子で優勝を飾り表彰を受ける栃木県チーム



成年男子を勝ち抜き、喜びを爆発させる栃木県チーム(準々決勝 東京戦)



成年男子大将・北野裕一選手が優勢勝ちで決勝進出を決める(準決勝 茨城戦)



女子大将・蓮尾沙樹選手が合わせ技一本勝ち(1回戦 北海道戦)



少年男子大将・藤井達也選手が合わせ技一本で勝利(1回戦 宮城戦)



東京オリンピック出場の原沢久喜氏と市内の小学生による技披露



栃木県柔道連盟の公開演技



寛仁親王妃信子殿下、オリンピック原沢久喜氏、新井千鶴氏と記念撮影



栃木県チーム勢ぞろい



8奪三振と力投した國學院栃木の盛永智也投手（準決勝 聖光学院戦）



# 高等学校野球（硬式）

会期 令和4年10月2日～5日

会場 宇都宮清原球場

特別競技の高等学校野球（硬式）は、10月2日から5日まで宇都宮清原球場で開催され、今夏の甲子園を沸かせた全国の強豪校が集まって熱戦を繰り広げました。栃木県代表で甲子園ベスト16の健闘を見せた國學院栃木は1回戦で甲子園4強の近江（滋賀県）と対戦し6-5で競り勝ちましたが、準決勝では甲子園準優勝の聖光学院（福島県）に0-3で敗れました。決勝は大阪桐蔭（大阪府）が聖光学院を5-1で下し4年ぶり4度目の優勝を飾りました。



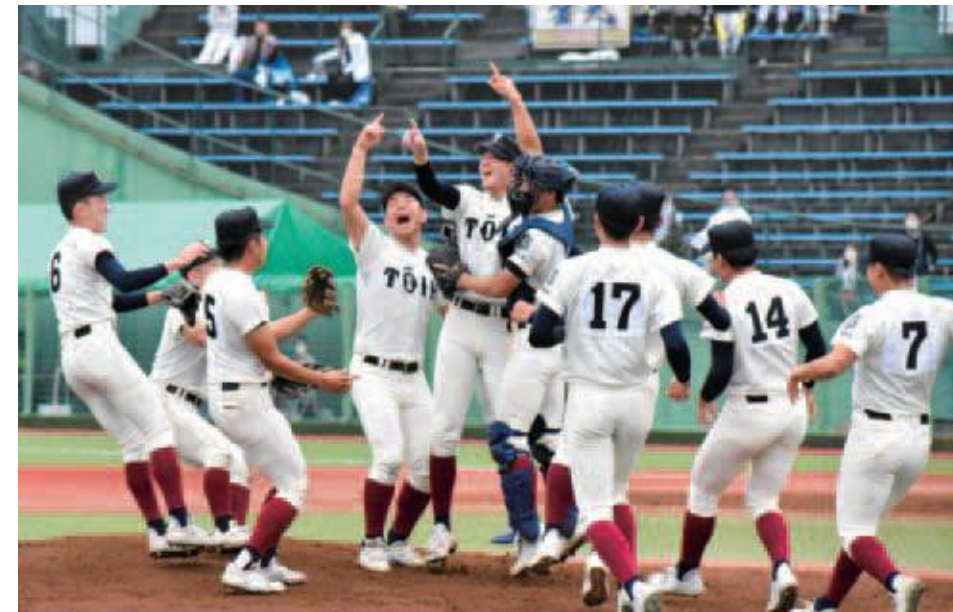
甲子園を沸かせたチームの戦いを見ようとにぎわう宇都宮清原球場

## 競技結果

1位	大阪桐蔭（大阪府）
2位	聖光学院（福島県）
3位	國學院栃木（栃木県）
3位	下関国際（山口県）



3位の表彰を受ける國學院栃木・平井悠馬主将



優勝が決まった瞬間、喜びを爆発させた大阪桐蔭ナイン



打者を内野ゴロに仕留めた國學院栃木（準決勝 聖光学院戦）



ホームインする國學院栃木（1回戦 近江戦）



七回に適時三塁打を放ちベース上でガッツポーズの飯塚恵士選手（1回戦 近江戦）



大観衆の中はつらつとプレーする國學院栃木（1回戦 近江戦）



盛り上がる応援団



優勝の表彰を受ける大阪桐蔭ナイン



準優勝の表彰を受ける聖光学院ナイン



スタンドの大応援団にあいさつする國學院栃木ナイン



グラウンド整備をする競技補助員



はつらつとしたプレーを見せる作新学院ナイン



# 高等学校野球(軟式)

会期 令和4年10月2日～5日

会場 栃木県総合運動公園硬式野球場

特別競技の高等学校野球(軟式)は、10月2日から5日まで栃木県総合運動公園硬式野球場に全国の強豪校が集まって熱戦を繰り広げました。栃木県代表の作新学院は1回戦で今夏の全国選手権大会優勝校の中京(岐阜県)、準決勝であべの翔学(大阪府)を撃破して決勝へ進出。決勝では鹿児島実(鹿児島県)と0-0で引き分け、同時優勝となりました。国体での作新学院の優勝は9回目です。

### 競技結果

- 1位 作新学院(栃木県)
- 1位 鹿児島実(鹿児島県)
- 3位 三浦学苑(神奈川県)
- 3位 あべの翔学(大阪府)



栃木県総合運動公園硬式野球場



1回戦に勝利して校歌を聞く作新学院ナイン



3試合連続完封で優勝に貢献した福島綾人投手



堅守が光った作新学院ナイン(準決勝 あべの翔学戦)



三塁への進塁を阻止した作新学院(1回戦 中京戦)



ガッツポーズでホームインの大沼琉玖捕手(準決勝 あべの翔学戦)



閉会式で行進する両優勝校



決勝戦前、鹿児島実と先攻決めのジャンケン



ピンチにマウンドに集まる作新学院ナイン(決勝 鹿児島実戦)



六回の1死満塁のピンチをダブルプレーで切り抜けた作新学院(決勝 鹿児島実戦)



試合前のグラウンドをチェック



作新学院の応援団

## デモンストレーション スポーツ(デモスポ)

「いちご一会とちぎ国体」デモンストレーションスポーツ(デモスポ)は天皇杯、皇后杯の獲得を目指した正式競技とは別に、県内在住、在勤者などに気軽にスポーツを楽しんでもらうための催しです。5月から9月末まで県内各地で31競技が行われ、宇都宮市ではアームレスリング、3x3、フットサルの3競技で熱戦を繰り広げました。



## アームレスリング

会期 令和4年6月19日

会場 栃木県総合文化センター

アームレスリングは、6月19日に県総合文化センターサブホールで開かれ、県内外から腕自慢の選手約200人が参加しました。開会式で佐藤栄一市長が「宇都宮での国体スタートとなる大会。精いっぱい全力で戦ってください」とあいさつ。競技は、栃木県のマスコットキャラクター「とちまるくん」のサプライズ登場で幕を開け、一般男子・女子の部に分かれ、レフトハンド・ライトハンドの体重別16階級で競い合ったほか、今大会限定で男子ビギナー(過去10年で大会優勝経験のない選手)の部が設けられました。



スリーエックススリー

## 3x3

会期 令和4年7月3日

会場 オリオンスクエア

3人制バスケットボールの「3x3」は、7月3日にオリオンスクエアで開かれ、県内からミニバスケットボールの12チームの小学生が参加して競いました。通常のバスケットボールのほぼ半分のコートを使い、両チームが同じゴールにシュートする競技です。突然の雷雨というハプニングはありましたが、予定した試合は全て終了しました。音楽との融合も3x3の特徴の一つで、会場にはノリのよい音楽が流され、小学生たちは攻守の切り替えの早い、スピーディーなゲームを繰り広げました。



## フットサル

会期 令和4年7月17日

会場 宇都宮市清原体育館

フットサルは、7月17日に宇都宮市清原体育館で開催され、県内から10チーム約180人が参加して熱戦が繰り広げられました。フットサルは、弾みにくいボールを使って1チーム5人で競うスポーツで、幅広い年代が参加できます。この日は、県内トップレベルのチームによる男子の部と女子の部のほか、小学生以下の子どもを含むメンバーで戦うファミリーフットサルの部が設けられました。リーグ戦方式で行われたファミリーフットサルの部では、子供たちの奮闘が光り、会場には拍手や歓声が響きわたっていました。





夢と感動をありがとう！栃木県選手団

# 総合閉会式

会期 令和4年10月11日（火）

会場 カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の総合閉会式が、秋篠宮家の佳子内親王殿下御臨席のもと、令和4年10月11日、カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）で開催され、11日間にわたる熱戦に幕が下ろされました。

栃木県は冬季大会と合わせて総合得点2270.5点を獲得し、男女総合成績（天皇杯）、女子総合成績（皇后杯）ともに2位となりました。

会期中、選手たちの健闘を見守り続けた炬火は、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」へ、国体旗は福田富一栃木県知事から次回開催地の塩田 康一鹿児島県知事へ、それぞれ引き継がれました。



観客席と選手団、感動と感謝を共有性



オープニングプログラム ダンス



オープニングプログラム 障害者スポーツ大会 デモンストレーション



佳子内親王殿下御臨席



室伏広治スポーツ庁長官あいさつ



佳子内親王殿下から東京都選手団代表に天皇杯が授与される



男女総合成績第2位の栃木県表彰



国体旗が次回鹿児島県に引き継がれる



炬火がいちご一会とちぎ大会に引き継がれる



炬火がいちご一会とちぎ大会に引き継がれる



他県選手団を見送る栃木県関係者



次回開催地・鹿児島県選手団の退場



「夢を感動へ。感動を未来へ。」いちご一会とちぎ国体が完結



観客の歓声に応えながら入場する栃木県選手団

# いちご一会とちぎ大会 開会式

会期 令和4年10月29日

会場 カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）

栃木県で初めての開催となる第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の開会式が、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席のもと、令和4年10月29日、カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）で開催され、全国から選手団、大会関係者、観覧者ら約1万3千人が参加しました。



他県選手団を歓迎



御臨席された秋篠宮皇嗣同妃両殿下



赤いタオルを掲げ歓迎



炬火台に点火



手話で挨拶する佐藤栄一市長

選手宣誓を行う陸上女子の加藤凜香選手（右）と陸上男子の松下裕哉選手。後ろは旗手を務めたバスケットボール(知的)女子の松島史代選手



炬火リレーでトーチの火が最終走者の陸上・数度美幸選手（右端）と日野花音選手（左から2人目）にわたる



歓迎演技1  
「恵まれた大地～自然～」



歓迎演技3  
「豊かなとちぎ～更なる可能性～」



歓迎演技2  
「出会い・繋がり～歴史・文化～」



歓迎演技3  
「豊かなとちぎ～更なる可能性～」

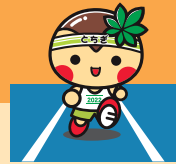


各都道府県の選手団



スタンドが一体となってフィナーレへ





# 陸上競技(身・知)

会期 令和4年10月29日～31日

会場 カンセキスタジアムとちぎ  
(栃木県総合運動公園陸上競技場)

陸上競技は、10月29日から31日までの3日間、カンセキスタジアム(栃木県総合運動公園陸上競技場)で競走、跳躍、投てきの計15種目を行いました。栃木県勢は、砲丸投の飯島美佐子選手が大会新で優勝するなど計27個の金メダルを獲得しました。



200mの薄井遥迦選手



ジャベリックスロー優勝の矢島一美選手



立幅跳優勝の佐藤太市選手



走幅跳の山口瑠璃選手



立幅跳優勝の原恵美選手



200m優勝の臼井悠斗選手



# 水泳(身・知)

会期 令和4年10月29日～31日

会場 日環アリーナ栃木屋内水泳場  
(栃木県総合運動公園屋内水泳場)

水泳は、10月29日から31日までの3日間、日環アリーナ栃木屋内水泳場(栃木県総合運動公園屋内水泳場)で10種目の熱戦を展開。栃木県勢は50m背泳ぎ、同バタフライの大島茄巴琉選手、50m背泳ぎの吉原未来選手、25m背泳ぎの落合有佳利選手がそれぞれの区分において大会新の力泳で制するなど計13個の金メダルを獲得しました。



50m自由形の鈴木宏都選手



50mバタフライの矢野悠希選手



25m平泳ぎの澤田暖選手



50m背泳ぎ 大会新で優勝を飾った大島茄巴琉選手のスタート



50m背泳ぎを大会新で制した吉原未来選手



50m背泳ぎで優勝した小室元気選手



# バスケットボール(知)

会期 令和4年10月29日～30日

会場 日環アリーナ栃木メインアリーナ  
(栃木県総合運動公園メインアリーナ)

バスケットボールは、10月29、30の両日、日環アリーナ栃木メインアリーナ(栃木県総合運動公園メインアリーナ)で開催されました。栃木県チームは、女子が3位決定戦で沖縄県に52-94で敗れ惜しくも3位の座を逃しました。男子は1回戦で大阪市に54-71で敗退しました。



攻撃に転じる栃木県チーム (男子1回戦 大阪戦)



激しい攻防 (女子準決勝 愛知戦)



柴田美優選手のドリブル (女子3位決定戦 沖縄戦)



武田幸基選手がジャンプシュートを狙う (男子1回戦 大阪戦)



多賀鈴花選手が攻撃を組み立てる (女子準決勝 愛知戦)



# グラウンドソフトボール(身)

会期 令和4年10月29日～30日

会場 宇都宮市屋板運動場運動広場

グラウンドソフトボールは、10月29、30の両日、宇都宮市屋板運動場運動広場に6チームが参加して熱戦を繰り広げました。栃木県チームは初戦の準決勝で福岡県と激突。投手陣が相手強力打線から長短12安打を浴びて8失点を喫し、反撃の好機を作れないままに0-8で完封負けしました。



塁上のクロスプレー (準決勝 福岡戦)



打撃に入る栃木県の田名網博選手 (準決勝 福岡戦)



力投する尾引建一投手 (準決勝 福岡戦)



試合前に気合を入れる栃木県チーム (準決勝 福岡戦)



# バレーボール(身・知)

会期 令和4年10月29日～30日

会場 宇都宮清原体育館、宇都宮市体育館

バレーボールは10月29、30の両日、宇都宮清原体育館と宇都宮市体育館で身体障害(聴覚障害)の部、知的障害の部が開催されました。栃木県チームは、身体の男女、知的の男女がいずれも1回戦を突破する健闘を示し、知的女子チームが3位決定戦で宮城県チームを2-0で勝利し、3位入賞を果たしました。身体の男女、知的の男子はいずれも3位決定戦で無念の涙をのみました。



石田さつき選手がアタックを決める  
(身体女子3位決定戦 東京戦)



安定したレシーブの栃木県チーム  
(知的女子1回戦 新潟戦)



3位入賞を決め、笑顔の栃木県チーム  
(知的女子3位決定戦 岩手戦)



得点に沸く栃木県チーム  
(身体男子1回戦 鳥取戦)



気合を入れる栃木県チーム  
(知的男子3位決定戦 岩手戦)



他県選手団を見送る栃木県選手たち

開催準備  
国体競技  
大会競技  
資料



# オープン競技 卓球バレー(身・知・精)

会期 令和4年10月2日

会場 とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)

オープン競技の卓球バレーは、10月2日、とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)で17チームが熱戦を展開。栃木県チームは、予選リーグを勝ち抜いたとちぎSSK、チームサンアビ、OKT(岡本特別支援学校)、さしばアタッカーズが決勝トーナメントに挑みましたが、いずれも1回戦で敗退しました。



写真奥 栃木県のとちぎSSK  
(決勝トーナメント1回戦 茨城卓球バレー愛好会戦)



写真奥 栃木県のさしばアタッカーズ  
(決勝トーナメント1回戦 宮城気仙沼戦)



決勝トーナメントの熱戦風景



優勝し、表彰される岩手県のアスレクト



とちぎSSKに敢闘賞を授与

# いちご一会とちぎ大会 閉会式

会期 令和4年10月31日

会場 カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の閉会式が、高円宮妃殿下御臨席のもと、令和4年10月31日、カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)で開催されました。栃木県選手団は金メダル62、銀メダル41、銅メダル41の合計144個のメダルを獲得し、前回の福井大会の37個を大きく上回り、過去最多を記録しました。とちぎ国体、とちぎ大会を見守ってきた炬火が納火され、3日間にわたる熱いドラマに終わりを告げました。



挨拶する佐藤栄一市長



閉会式に御臨席された高円宮妃殿下



大会旗が福田富一知事から次回開催地の鹿児島県・塩田康一知事の手に



大会を振り返るメモリアル映像



最後に栃木県選手団で記念撮影



スタンドの歓声に応える栃木県選手たち



栃木県旗儀礼



栃木県出身のシンガーソングライター川崎鷹也さん



友情の証の記念撮影